

こじはん

食事と食事の間のちょっとおなかがすいたときに食べる間食のことを、「こじはん」といいます。農作業の合間に、いっしょに作業をしている家族や^{ち い き}地域の人が^{きゆうけい}休憩とともに集まって、みんなでとることもありました。

〈こんな時に使います〉

○農作業中の人が・・・

「はあ、くたびれたから、
こじはんにすっぺ。」

○^{せんてい}植木剪定の職人さんに、
休憩時間にうどんを出したとき・・・

「こりゃ、おれらには
こじはんだな。」

○農作業の休憩を進めるとき・・・

「こじはん、あがって。」
(ちょっとした食事を用意したから
食べて。)

～とちぎ人^{じん}の想い～

- ・「こじはん」は、カ仕事や農作業を行う人たちに、「お疲れ様です。」「ありがとう。」といったねぎらいや感謝の気持ちを込めて出しました。
- ・子どもの頃^{ころ}、畑^{すわ}に座って、みんなでいっしょに大皿にのったおにぎりを食べたことを思い出します。

〈こじはんの説明〉

カ仕事をする農家の人たちは、おにぎりや漬^つけ物、飲み物などを準備して畑や田んぼに出向き、作業が一段落したときや一休みするときに、みんなでいっしょに「こじはん」をとっていたそうです。

「こじはん」には、おにぎりなどの主食になるものや^{さといも}里芋、じゃがいも、さつまいもといった芋類や漬^つけ物などを食べました。

言葉の由来は、小さな昼食（軽い昼食）を表す「小昼飯」が変化したものだといわれています。

